シラバス（授業概要）　2023　年度

授業科目名	外国語会話Ⅰ						
学科・コース	国際コミュニケーション科／ランゲージコース						
担当教員	Andrew Swift						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
演習	・講義	1	通年	必修選択	30	1	
授業目的 到達目標	This course is a student-centered English language course. It is designed to prepare students for real-life situations encountered while traveling overseas. Topics include buying souvenirs, rail travel, and ordering in a restaurant.						
授業手法	・対面		・遠隔		・対面/遠隔 ○	・オンデマンド	

アクティブラーニング								
事前学習型授業		反転授業		調査授業		ﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸ	
双方向ｱﾝｹｰﾄ		ﾍﾟｱﾜｰｸ	○	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	○	ﾛｰﾙﾌﾟﾚｲ	○
ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ		PBL		模擬授業		その他	

授業内容・授業計画

時間数	内容概略	わかる目標・できる目標
1-2	Unit 1: At the Airport	10項目程度
3-4	Unit 2: At the souvenir store	① Make simple requests - can / could
5-6	Unit 3: At the train station	② talk about past events
7-8	Unit 4: At the café	③ Ask for assistance or advice
9-10	Unit 5: At the hotel	④ Use prepositions correctly
11-12	Unit 6: At the bank	⑤ talk about recent experiences
13-14	Unit 7: At the car rental	⑥ understand basic requests
15-16	Unit 8: At the pharmacy	⑦ understand a variety of accents
17-18	Unit 9: At the store	
19-20	Unit 10: At the tourist spot	
21-22	Unit 11: At the restaurant	
23-24	Unit 12: At the beach	
25-26	Unit 13: At the police statin	
27-28	Unit 14: At the concert	
29-30	Unit Review & Testing	

成績評価方法	Written Test 80%, Attendance 10%, Effort & Participation 10%
使用テキスト／教材	Class handouts will be provided by the teacher.
関連科目	英会話I
その他	This course is taught in English. The material taught during this course will assist students when overseas.

シラバス（授業概要）　2023　年度

授業科目名	TOEIC SW I						
学科・コース	国際コミュニケーション科／ランゲージコース						
担当教員	Anthony Cook						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
演習	・講義	1	通年	必修	30	1	
授業目的 到達目標	The TOEIC® Speaking Test is a 20-minute, 11 question assessment of speaking ability. This course will guide students through question types, test strategies, and preparation.						

授業手法	・対面			・遠隔			・対面/遠隔	○		・オンデマンド		
アクティブラーニング	事前学習型授業			反転授業			調査授業			ﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸ		
	双方向ｱﾝｹｰﾄ	○		ﾍﾟｱﾜｰｸ	○		ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	○		ﾛｰﾙﾌﾟﾚｲ		
	ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ			PBL			模擬授業			その他		

授業内容・授業計画

時間数	内容概略	わかる目標・できる目標
1-2	Introduction toe TOEIC® Speaking Test	10項目程度
3-4	Question 1&2 - Read a Text Aloud	① Familiarity of test format
5-6	Question 3&4 - Describe a Picture	② Familiarity with score system
7-8	Question 5,6,7 - Respond to Questions (WH + YN)	③ Improved spoken pronunciation
9-10	Question 5,6,7 - Respond to Questions (WH + YN)	④ Improved spoken intonation
11-12	Question 8,9 - Respond to Questions (WH + YN)	⑤ Able to describe a scene
13-14	Question 10 - Information Provided (Describe)	⑥ Able to answer questions about self
15-16	Question 10 - Information Provided (Describe)	⑦ Able to answer questions about community
17-18	Question 11 - Express an Opinion	⑧ Can retell information from a document
19-20	Question 11 - Express an Opinion	⑨ Able to provide an opinion, reasons, and examples
21-24	Review Test 1	
25-28	Review Test 2	
29-30	Introduction to TOEIC Writing Test	

成績評価方法	Oral Proficiency Test 50%, Written Responses 20%, Effort & Particpation 30%
使用テキスト／教材	Course materials will be provided by the teacher at the beginning of each class.
関連科目	英語検定I，英会話I
その他	This class is conducted primarily in English. Please bring your computer to each class. ※実務経験のある教員が担当する科目である。

シラバス（授業概要）　2023　年度

授業科目名	海外生活研修
学科・コース	国際コミュニケーション科／ランゲージコース
担当教員	山梨千恵子・関根由美子

授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位
実習	・講義	1	通年	必修	60	2

授業目的 到達目標	個人の力で海外文化に触れ、海外での語学学習を体中で経験することにより、グローバル社会で活躍出来る学生を育成する事を目指す。週１の授業によって海外個人語学留学を安全に有意義に実行することを目標とし、毎回の授業はそれらを実現するための課題とその作成となります。

授業手法	・対面	○	・遠隔		・対面/遠隔		・オンデマンド		

アクティブラーニング									
	事前学習型授業		反転授業		調査授業	○	ﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸ	
	双方向ｱﾝｹｰﾄ		ﾍﾟｱﾜｰｸ		ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	○	ﾛｰﾙﾌﾟﾚｲ	○
	ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ	○	PBL		模擬授業		その他	○

授業内容・授業計画

時間数	内容概略	わかる目標・できる目標
1~4	海外個人留学の目的・留学場所等について（面談）	10項目程度
5~10	費用について調査	① 留学の目的を知り、希望留学先を決める
11~18	希望留学先について調査	② 留学に必要な費用について知る
19~24	希望留学先調査のプレゼン発表準備	③ 希望留学先について、調査出来る
25~28	希望留学先プレゼン発表	④ 希望留学先について、プレゼン発表出来る
29~30	海外邦人安全協会講義	⑤ 海外の治安などについて、自分を守る方法を知る
31~32	EFの各種講義①・希望留学小冊子の作成	⑥ EF校様の各講義内容を理解する
33~34	EFの各種講義②・希望留学小冊子の作成	⑦ 希望留学先についての小冊子を作成する
35～36	EFの各種講義③・希望留学小冊子の作成	⑧ 留学するに当たり最終的に知っておくべき事を知る
37~38	EFの各種講義④・希望留学小冊子の作成	⑨ 留学中に毎日現地語で課題を出せる
39~40	EFの各種講義⑤・希望留学小冊子の作成	⑩ 留学の成果について、留学後にプレゼンが出来る
41~54	希望留学小冊子の作成	
55~56	留学出発前最終確認事項の確認	
57～60	留学・留学後、課題提出・留学後発表会準備・留学後発表会	

成績評価方法	プレゼン発表（30%）・留学後の提出物（20%） 留学準備における提出物（40%）授業態度・出欠席（10%）
使用テキスト／教材	講師作成プリント
関連科目	比較文化研究Ⅰ＆Ⅱ、外国語会話Ⅰ＆Ⅱ
その他	各自毎時間PCを持参する。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。

シラバス（授業概要）　2023　年度

授業科目名	海外文化研修						
学科・コース	国際コミュニケーション科／ランゲージコース						
担当教員	山梨千恵子・関根由美子						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
実習	・講義	1	後期	必修	60	2	
授業目的 到達目標	現地での語学学校・ホームステイを通して、海外個人留学中に語学以外の生活文化を特に意識して学び、現地で快適に暮らせるように努力することを目標とする。留学前に、現地の生活習慣や文化、ものの考え方などを学習していくとともに、滞在中は、現地の人々の生活を観察し、積極的に異文化を体感し学習していくことが重要になります						

授業手法	・対面	○	・遠隔		・対面/遠隔		・オンデマンド		

アクティブラーニング									
	事前学習型授業		反転授業		調査授業	○	ﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸ	
	双方向ｱﾝｹｰﾄ		ﾍﾟｱﾜｰｸ		ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ		ﾛｰﾙﾌﾟﾚｲ	○
	ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ	○	PBL	○	模擬授業		その他	○

授業内容・授業計画

時間数	内容概略
1~4	EF校での自己紹介・日本の季節ごとの行事についてプレゼン準備
5~8	プレゼン発表
9~10	留学直前オリエンテーション
11~14	A科連携授業（空港でのチェックイン・機内）
15~16	留学出発前最終確認事項、留学中の課題の確認
17~58	留学（ホームステイ）
59~60	留学中提出課題確認・留学後発表会について

わかる目標・できる目標

10項目程度

① EF校での自己紹介プレゼンを英語で出来る
② 留学するに当たり最終的に知っておくべき事を知る
③ 現地の語学を学び、発話力を向上できる
④ ホームステイを通し、現地の生活習慣や文化、ものの考え方を学ぶ
⑤ 異文化の中でも自分の意思表示が出来、相手も受け入れる姿勢を作る
⑥ 留学中に現地語で毎日課題を出す
⑦ 留学の成果について、留学後にプレゼンが出来る

成績評価方法	留学（ホームステイの様子）（40%）　プレゼン発表（20%） 留学中の提出物（30%）　授業態度・出欠席（10%）
使用テキスト／教材	講師作成プリント
関連科目	比較文化研究Ⅰ＆Ⅱ、外国語会話Ⅰ＆Ⅱ
その他	各自毎時間PCを持参する。※実務経験のある教員が担当する科目である。

シラバス（授業概要）　2023　年度

授業科目名	Communicative English Ⅰ
学科・コース	国際コミュニケーション科／ランゲージコース
担当教員	Anthony Cook

授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位
実技	・講義	1	通年	必修選択	30	1

授業目的 到達目標	Students learn about the history, food, language, and culture of a different country each lesson. During each class, students will utilize listening, reading, writing, and speaking skills to share their opinions and thoughts about each country.

授業手法	・対面		・遠隔		・対面/遠隔	○	・オンデマンド	

アクティブラーニング								
事前学習型授業		反転授業		調査授業		ﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸ	
双方向ｱﾝｹｰﾄ	○	ﾍﾟｱﾜｰｸ	○	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	○	ﾛｰﾙﾌﾟﾚｲ	
ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ		PBL		模擬授業		その他	

授業内容・授業計画

時間数	内容概略
1-2	Unit 1: Denmark (history/culture/food/tourism)
3-4	Unit 2: Thailand (history/culture/food/tourism)
5-6	Unit 3: Brazil (history/culture/food/tourism)
7-8	Unit 4: Canada (history / culture/food/tourism)
9-10	Unit 5: France (history/culture/food/tourism)
11-12	Unit 6: South Korea (history/culture/food/tourism)
13-14	Unit 7: Italy (history/culture/food/tourism)
15-16	Unit 8: Peru (history/culture/food/tourism)
17-18	Unit 9: Hawaii (history/culture/food/tourism)
19-20	Unit 10: Egypt (history/culture/food/tourism)
21-22	Unit 11: Spain (history/culture/food/tourism)
23-24	Unit 12: Hong Kong (history/culture/food/tourism)
25-26	Unit 13: New Zealand (history/culture/food/tourism)
27-28	Unit 14: Germany (history/culture/food/tourism)
29-30	Unit 15: California (history/culture/food/tourism)

わかる目標・できる目標

10項目程度

① Provide factual information about a country
② Answer questions about food preferences
③ Learn greetings in the native language
④ Explain and justify reasons for choosing specific tourist locations
⑤ Develop greater awareness of different foreign countries
⑥ Write a country report of more than 50 words in English

成績評価方法	Scores will be assigned based on attendance (20%), effort & participation (20%) and the quality and content of your weekly written report (60%).
使用テキスト／教材	Materials will be distributed at the start of each class.
関連科目	英会話 Ⅰ, TOEIC SWⅠ, 英語検定 Ⅰ
その他	This course is primarely conducted in English. Please bring your PC to class. ※実務経験のある教員が担当する科目である。

シラバス（授業概要）　2023　年度

授業科目名	ビジネス英語検定Ⅰ						
学科・コース	国際コミュニケーション科／ランゲージコース						
担当教員	杉山和代						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
講義		1	通年	必修	30	2	
授業目的 到達目標	貿易に関する基礎知識を習得する。英文Eメールやレターの読み方、海外取引の概要を理解する。						
授業手法	・対面 ○	・遠隔	・対面/遠隔	・オンデマンド			

アクティブラーニング							
事前学習型授業		反転授業		調査授業		ﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸ	
双方向ｱﾝｹｰﾄ		ﾍﾟｱﾜｰｸ	○	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ		ﾛｰﾙﾌﾟﾚｲ	
ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ		PBL		模擬授業		その他	

授業内容・授業計画

時間数	内容概略	わかる目標・できる目標
1-2	英文レターのフォーマット	10項目程度
3-6	さまざまな場面のレターの内容	① 短めの英文レターが読める
7-8	英文Eメールに使用する略語	② 短めの英文Eメールが読める
9-12	さまざまな場面のEメールの内容	③ 基本的な貿易書類の概要がわかる
13-16	さまざまな貿易書類の基本的な理解	④ 信用状取引の概要がわかる
17-20	信用状取引の概要	⑤ 輸出入におけるものと書類とお金の流れがわかる
21-22	輸出入におけるものと書類とお金の動きの理解	
23-24	海外取引を行う2社のEメールのやりとりの内容理解	⑥ 英語でレターとEメールの定型文が書ける
26-28	さまざまな場面の英会話の内容理解	
29-30	レターとEメールにおける定型文の英作文	

成績評価方法	出席率（10%）と、前期および後期の期末試験（90%）
使用テキスト／教材	日商ビジネス英語検定3級公式テキスト、講師作成のプリント
関連科目	ビジネス英語検定Ⅱ、英語検定Ⅰ
その他	

シラバス（授業概要）　2023　年度

授業科目名	比較文化研究Ⅰ
学科・コース	国際コミュニケーション科／ランゲージコース
担当教員	山梨　千恵子

授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位
演習	・講義	1	通年	必修	30	1

授業目的 到達目標	異文化理解力の習得を目標とし、世界の文化を歴史・宗教・政治経済・社会などから広く学び、自国のものと比較しながら理解を深め、異文化間のコミュニケーションに役立つ知識や視点を身に付ける。

授業手法	・対面		・遠隔		・対面/遠隔	○	・オンデマンド	

アクティブラーニング								
事前学習型授業		反転授業		調査授業	○	ﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸ	
双方向ｱﾝｹｰﾄ	○	ﾍﾟｱﾜｰｸ		ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	○	ﾛｰﾙﾌﾟﾚｲ	
ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ	○	PBL	○	模擬授業		その他	

授業内容・授業計画

時間数	内容概略	わかる目標・できる目標
1-2	比較文化研究の意義・異文化理解力	10項目程度
3-4	The Culture Map・ハイコンテクスト/ローコンテクスト文化	① 異文化理解の知識
5-8	文化の影響と社会制度・移民問題と多文化主義	② ローコンテクスト文化・ハイコンテクスト文化の知識
9-10	世界の宗教・多文化共生社会	③ 移民についてのトピックの理解
11-12	食文化・食習慣・風土・歴史	④ 世界三大宗教・世界の宗教についての基礎知識
13-16	プレゼンテーション①	⑤ 世界の食文化の基礎知識
17-18	言語と文化・多種多様な非言語コミュニケーション	⑥ 世界遺産・文化財についての基礎知識
19-20	世界遺産・日本の文化遺産/文化財	⑦ 世界の美術・芸術についての基礎知識
21-22	美術と芸術・マスメディアとエンターテイメント	⑧ メディアとエンターテイメントのグローバル化についての理解
23-26	世界の経済と情報社会・デジタル化で変革する社会	⑨ 世界経済の基礎知識
27-30	プレゼンテーション②	⑩ 比較文化研究のプレゼンテーションができる

成績評価方法	出席率(50%)、授業レポート(30%)、プレゼンテーション(20%)
使用テキスト／教材	なるほど知図帳世界2023、授業内で配布する資料
関連科目	海外生活研修、海外文化研修
その他	

シラバス（授業概要）　2023　年度

授業科目名	Vocational English I
学科・コース	国際コミュニケーション科／ランゲージコース
担当教員	Anthony Cook

授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位
演習	・講義	1	後期	必修選択	30	1

授業目的 到達目標	This course is designed to provide an introduction to the various types of career in which English is used. Each unit will focus on the types of phrases and vocabulary used as well as useful information about the specific responsibilities of each line of work.

授業手法	・対面		・遠隔		・対面/遠隔	○	・オンデマンド	

アクティブラーニング								
事前学習型授業		反転授業		調査授業		ﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸ	
双方向ｱﾝｹｰﾄ		ﾍﾟｱﾜｰｸ	○	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	○	ﾛｰﾙﾌﾟﾚｲ	○
ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ		PBL		模擬授業		その他	

授業内容・授業計画

時間数	内容概略	わかる目標・できる目標
1-4	Unit 1: Airline and Airport Careers	10項目程度
5-8	Unit 2: Hotel & Resort Careers	① Awareness of job responsibilities
9-12	Unit 3: Tourism & Tourist Attraction Careers	② Confidence of using some work related phrases
13-16	Unit 4: Teaching & Education Careers	③ Able to design and write self-introduction
17-20	Unit 5: Self-Introduction Training I	④ Able to deliver self-introduction
21-24	Unit 6: Self-Introduction Training II	
25-28	Unit 7: Review Unit 1-8	
29-30	Unit 8: Introduction to Interviews	

成績評価方法	Attendance 25%, Effort & Participation 75%
使用テキスト／教材	Materials related to each course will be distributed by the teacher.
関連科目	英語検定I, TOEIC SW I
その他	This class is conducted primarily in English. Students are requested to consider career options carefully and participate in all activities.※実務経験のある教員が担当する科目である。

シラバス（授業概要）　2023　年度

授業科目名	Mind Awareness
学科・コース	国際コミュニケーション科／ランゲージコース
担当教員	松永祐子

授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位
演習	・講義	1	前期	必修	30	1

授業目的 到達目標	自己理解をベースに自己調整能力を育み、また、実社会で活かすために必要な心理学知識の理解と習得を目標とします。ペアワークやグループディスカッションなどの活動を通して、他者理解も含めた学びを深めていきます。

授業手法	・対面	○	・遠隔		・対面/遠隔		・オンデマンド	

アクティブラーニング								
	事前学習型授業		反転授業		調査授業		ﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸ	
	双方向ｱﾝｹｰﾄ		ﾍﾟｱﾜｰｸ	○	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	○	ﾛｰﾙﾌﾟﾚｲ	
	ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ		PBL		模擬授業		その他	

授業内容・授業計画

時間数	内容概略	わかる目標・できる目標
1～2	授業説明・自己紹介	
3～6	ウェルビーイング	① 自分の感情を自分で調整できる
7～10	自分の強みを知り生かす方法（VIA - ISの診断）	② 自分の強みの理解と活用ができる
11～12	選択理論心理学①私たちの脳の仕組み	③ 他者の強みを理解し良好な関係構築ができる
13～14	選択理論心理学②基本的欲求	④ 出来事への正しい認知と正しい行動ができる
15～16	選択理論心理学③願望について	⑤ ストレスの概念がわかる
17～18	選択理論心理学④行動のメカニズムと認知	⑥ ストレスからの回復力を養う方法がわかる
19～22	アンガーマネジメント（怒り感情の取り扱い）	⑦ 行動のメカニズムが理解できる
23～24	ストレス対処法	⑧ 自他への思いやりの効果がわかる
25～26	レジリエンス	
27～28	セルフ・コンパッション（自他への思いやりとは）	
29～30	テスト	

成績評価方法	出席率（30%）授業態度（30%）提出課題（20%）テスト結果（20%）
使用テキスト／教材	「幸せの達人」・講師オリジナルワークブック
関連科目	
その他	

シラバス（授業概要）　2023　年度

授業科目名	外国語会話Ⅱ						
学科・コース	国際コミュニケーション科／ランゲージコース						
担当教員	Andrew Swift						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
演習	・講義	2	通年	必修選択	30	1	
授業目的 到達目標	This course is a student-centered English language course designed to prepare students for real-life situations they may encounter when dealing with clients or in the workplace. Topics include leaving telephone messages, arranging travel plans, and asking advice.						
授業手法	・対面		・遠隔		・対面/遠隔 ○	・オンデマンド	

アクティブラーニング								
事前学習型授業		反転授業		調査授業		ﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸ	
双方向ｱﾝｹｰﾄ		ﾍﾟｱﾜｰｸ	○	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	○	ﾛｰﾙﾌﾟﾚｲ	○
ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ		PBL		模擬授業		その他	

授業内容・授業計画

時間数	内容概略	わかる目標・できる目標
1-2	Unit 1: Talking about your job	10項目程度
3-4	Unit 2: Introducing coworkers	① introduce selves at work
5-6	Unit 3: Explaining office layout	② explain workplace locations
7-8	Unit 4: Giving instructions / telephone numbers	③ Contrast "need / have to"
9-10	Unit 5: Giving invitations	④ Learn job titles and departments
11-12	Unit 6: Talking about travel plans	⑤ Able to make travel plans
13-14	Unit 7: Offering help & apologizing	⑥ Use present perfect + yet
15-16	Unit 8: Talking about sales figures	⑦ Awareness of different accents
17-18	Unit 9: Taking telephone messages	⑧ Provide instructions to staff
19-20	Unit 10: Discussing future plans	
21-22	Unit 11: Talking about yourself	
23-24	Unit 12: Talking about your experiences	
25-26	Unit 13: Comparing & Contrasting	
27-28	Unit 14: Asking for and giving advice	
29-30	Unit Review & Testing	

成績評価方法	Written Test 80%, Attendance 10%, Effort & Participation 10%
使用テキスト／教材	Passport to Work, Oxford University Press
関連科目	英会話Ⅱ
その他	This course is taught in English. The language learned during this course will assist students when joining an international work environment.

シラバス（授業概要）　　2023　年度

授業科目名	TOEIC SW Ⅱ
学科・コース	国際コミュニケーション科／ランゲージコース
担当教員	Anthony Cook

授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位
演習	・講義	2	通年	必修	60	2

授業目的 到達目標	The TOEIC® Speaking Test is a 20-minute, 11 question assessment of spoken English. This course will guide students through the question types, test strategies, and preparation.
授業手法	・対面　・遠隔　・対面/遠隔　・オンデマンド

アクティブラーニング								
	事前学習型授業		反転授業		調査授業		ﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸ	
	双方向ｱﾝｹｰﾄ	○	ﾍﾟｱﾜｰｸ	○	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	○	ﾛｰﾙﾌﾟﾚｲ	
	ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ		PBL		模擬授業		その他	

授業内容・授業計画

時間数	内容概略	わかる目標・できる目標
1-4	Unit 1: Test Review Questions 1-7	10項目程度
5-8	Unit 2: Test Review Questions 8-11	① Use appropriate intonation
9-12	Unit 3: Question 1&2 - Read Aloud	② Use appropriate pronunciation
13-16	Unit 4: Question 3&4 - Describe a Picture	③ Answer questions about lifestyle
17-20	Unit 5: Question 5 - Respond to Questions	④ Answer questions about experiences
21-24	Unit 6: Question 6 - Respond to Questions	⑤ Skim & Scan a text document
25-28	Unit 7: Question 7 - Respond to Questions	⑥ Retell information from a document
29-32	Unit 8: Question 8 - WH Questions	⑦ Provide an opinion on a topic
33-36	Unit 9: Question 9 - Yes / No Questions	⑧ Provide reasons to support an opinion
37-40	Unit 10: Question 10 - Describe Questions	⑨ Provide examples to support a reason
41-44	Unit 11: Question 11 - Opinion Design	
45-48	Unit 11: Question 12 - Opinion Reasoning	
49-52	Unit 11: Question 13 - Opinion Examples	
53-56	Review Test Q1-7	
57-60	Review Test Q8-11	

成績評価方法	Oral Proficiency Test 70%, Effort & Participation 30%
使用テキスト／教材	Materials will be provided by the teacher at the beginning of each class.
関連科目	英語検定Ⅱ、英会話 Ⅱ
その他	This class is conducted in English. Please bring your computer to each class. ※実務経験のある教員が担当する科目である。

シラバス（授業概要）　2023　年度

授業科目名	Communicative English Ⅱ
学科・コース	国際コミュニケーション科／ランゲージコース
担当教員	Anthony Cook

授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位
実技	・講義	2	通年	必修選択	30	1

授業目的 到達目標	Students learn about the history, food, language, and culture of a different country each lesson. During each class, students will utilize listening, reading, writing, and speaking skills to share their opinions and thoughts about each country.

授業手法	・対面		・遠隔		・対面/遠隔	○	・オンデマンド	

アクティブラーニング								
事前学習型授業		反転授業		調査授業		ﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸ	
双方向ｱﾝｹｰﾄ	○	ﾍﾟｱﾜｰｸ	○	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	○	ﾛｰﾙﾌﾟﾚｲ	
ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ		PBL		模擬授業		その他	

授業内容・授業計画

時間数	内容概略
1-2	Unit 1: Denmark (history/culture/food/tourism)
3-4	Unit 2: Thailand (history/culture/food/tourism)
5-6	Unit 3: Brazil (history/culture/food/tourism)
7-8	Unit 4: Canada (history / culture/food/tourism)
9-10	Unit 5: France (history/culture/food/tourism)
11-12	Unit 6: South Korea (history/culture/food/tourism)
13-14	Unit 7: Italy (history/culture/food/tourism)
15-16	Unit 8: Peru (history/culture/food/tourism)
17-18	Unit 9: Hawaii (history/culture/food/tourism)
19-20	Unit 10: Egypt (history/culture/food/tourism)
21-22	Unit 11: Spain (history/culture/food/tourism)
23-24	Unit 12: Hong Kong (history/culture/food/tourism)
25-26	Unit 13: New Zealand (history/culture/food/tourism)
27-28	Unit 14: Germany (history/culture/food/tourism)
29-30	Unit 15: California (history/culture/food/tourism)

わかる目標・できる目標

10項目程度

① Provide factual information about a country
② Answer questions about food preferences
③ Learn greetings in the native language
④ Explain and justify reasons for choosing specific tourist locations
⑤ Develop greater awareness of different foreign countries
⑥ Write a country report of more than 50 words in English

成績評価方法	Scores will be assigned based on attendance (20%), effort & participation (20%) and the quality and content of your weekly written report (60%).
使用テキスト／教材	Materials will be distributed at the start of each class.
関連科目	英会話 Ⅱ, TOEIC SW Ⅱ, 英語検定 Ⅱ
その他	This course is primarely conducted in English. Please bring your PC to class. ※実務経験のある教員が担当する科目である。

シラバス（授業概要）　2023　年度

授業科目名	ビジネス英語検定Ⅱ						
学科・コース	国際コミュニケーション科／ランゲージコース						
担当教員	杉山和代						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
講義		2	通年	必修選択	30	2	
授業目的 到達目標	貿易、経済、金融に関する知識、及び貿易書類の読み方や英文契約書の内容読解を習得する。						
授業手法	・対面 ○	・遠隔	・対面/遠隔	・オンデマンド			

アクティブラーニング							
事前学習型授業		反転授業		調査授業		ﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸ	
双方向ｱﾝｹｰﾄ		ﾍﾟｱﾜｰｸ		ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	○	ﾛｰﾙﾌﾟﾚｲ	
ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ		PBL		模擬授業		その他	

授業内容・授業計画

時間数	内容概略	わかる目標・できる目標
1-6	以下の書類の内容理解	10項目程度
	・信用状	① 難易度の高い英文が読める
	・為替手形	② 貿易書類が読める
	・船荷証券	③ 英文契約書が読める
	・原産地証明書	④ 市場経済の知識を得る
	・海上保険証券	⑤ 信用状取引について理解できる
	・送り状	
7-12	社内文書（英語）の内容理解	
13-14	為替リスクの回避	
15-16	さまざまな貿易取引	
17-18	国際マーケティング	
19-20	法制度や貿易の自由化の歴史	
21-22	国内総生産や価値について	
23-24	クレームと仲裁	
25-30	英文契約書の内容理解	

成績評価方法	授業内で行うミニテスト（30%）と、期末試験（70%）
使用テキスト／教材	講師制作のプリント、その他
関連科目	ビジネス英語検定Ⅰ、英語検定Ⅱ
その他	

シラバス（授業概要）　2023　年度

授業科目名	Drama English
学科・コース	国際コミュニケーション科／ランゲージコース
担当教員	Anthony Cook

授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位
実技	・演習	2	後期	必修	30	1

授業目的 到達目標	Drama English offers students the opportunity to view and listen to a variety of media from English speaking countries. This may include clips from TV shows, movie trailers, online vlogs, and documentaries.

授業手法	・対面			・遠隔			・対面/遠隔	○		・オンデマンド		

アクティブラーニング												
	事前学習型授業			反転授業			調査授業			ﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸ		
	双方向ｱﾝｹｰﾄ			ﾍﾟｱﾜｰｸ	○		ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	○		ﾛｰﾙﾌﾟﾚｲ		
	ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ			PBL			模擬授業			その他		

授業内容・授業計画

時間数	内容概略	わかる目標・できる目標
1-2	Class Questionnaire and Survey - media selection	10項目程度
3-4	Media Study 1: Movie Trailers A	① improve listening comprehension
5-6	Media Study 2: Movies Trailers B	② experience native-level media
7-10	Media Study 3: Drama Clip - Australian TV	③ improve vocabulary range
11-14	Media Study 4: Drama Clip - American TV	④ learn foreign culture
15-16	Media Study 5: Online Vlog - Travel	⑤ experience different accents
17-18	Media Study 6: Online Vlog - Speech	
19-22	Media Study 7: Documentary 1	
23-26	Media Study 8: Documentary 2	
27-30	Media Study 9: Documentary 3	

成績評価方法	Attendance 25%, Effort & Participation 75%
使用テキスト／教材	A variety of short clips, movie trailers, documentaries, and various media will be provided at the start of each class. Students should bring their PC to the lesson in order to access the Internet.
関連科目	英語検定Ⅱ，英会話Ⅱ，TOEIC SW Ⅱ
その他	This class is primarily taught in English. Please bring your PC to class. ※実務経験のある教員が担当する科目である。

シラバス（授業概要）　2023　年度

授業科目名	比較文化研究Ⅱ						
学科・コース	国際コミュニケーション科／ランゲージコース						
担当教員	関根　由美子						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
演習	・講義	2	通年	必修	30	1	
授業目的 到達目標	異文化理解と異文化コミュニケーションの座学とグループワークや調査、プレゼン発表を通して、様々な人々と協調し、順応出来る力を身に付ける						

授業手法	・対面			・遠隔			・対面/遠隔	○		・オンデマンド		
アクティブラーニング	事前学習型授業			反転授業			調査授業	○		ﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸ		
	双方向ｱﾝｹｰﾄ			ﾍﾟｱﾜｰｸ			ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	○		ﾛｰﾙﾌﾟﾚｲ		○
	ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ	○		PBL	○		模擬授業			その他		

授業内容・授業計画

時間数	内容概略	わかる目標・できる目標
1~2	授業説明・異文化理解への態度（ケーススタディ）	10項目程度
3~6	世界の文化・習慣・マナー・食文化のプレゼン	① 日本の常識にとらわれない素地を作る
7~8	見える文化と見えない文化（見えない文化ロープレ）	② 世界の文化・習慣・マナーなどを知る
9~10	国際交流科の学生へのインタビュー・発表・自己開示	③ 誤解されやすい文化をロールプレイングを通して体験し理解を深める
11~12	言語コミュニケーション（世界のほめ方・プレゼン作成）	④ 国際交流科の学生から実体験を聞き、より海外との違いを知る
13~14	言語コミュニケーション（世界の叱り方・プレゼン作成）	⑤ 世界の褒め方・叱り方・謝り方を知りプレゼン発表出来る
15~16	言語コミュニケーション（世界の謝り方・プレゼン作成）	⑥ 外国籍の方から直接その国の文化・風習などを聴講し、理解を深める
17~18	出前教室①	⑦ コンテキスト・異文化コミュニケーション・パラ言語を理解する
19~20	コンテキスト・異文化コミュニケーション・パラ言語	⑧ 世界の非言語コミュニケーションを知る
21~22	出前教室②	⑨ 世界の言語コミュニケーション・非言語コミュニケーションについて
23~24	非言語コミュニケーション（アイコンタクト・プレゼン作成）	プレゼン発表が出来る
25~26	非言語コミュニケーション（ジェスチャー・プレゼン作成）	
27~28	非言語コミュニケーション（時間の感覚・プレゼン作成）	
29~30	世界の言語コミュニケーション・非言語コミュニケーションについてプレゼン発表	

成績評価方法	プレゼン発表（50%）・ロールプレイング発表（10%） 小テスト・提出物（30%）授業態度・出欠席（10%）
使用テキスト／教材	異文化コミュニケーション（三修社）・講師作成プリント
関連科目	比較文化研究Ⅰ
その他	各自毎時間PCを持参する

シラバス（授業概要）　2023　年度

授業科目名	English Reading						
学科・コース	国際コミュニケーション科／ランゲージコース						
担当教員	Anthony Cook						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
実技		2	後期	必修選択	30	1	
授業目的 到達目標	This course is designed to enhance English reading comprehension skills through the use of graded readers. Students may select from a variety of texts. Upon completion, short group discussions enable students to both share and reflect on the contests of what they have read.						
授業手法	・対面		・遠隔		・対面/遠隔 ○	・オンデマンド	

アクティブラーニング								
事前学習型授業		反転授業		調査授業		ﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸ	
双方向ｱﾝｹｰﾄ		ﾍﾟｱﾜｰｸ		ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	○	ﾛｰﾙﾌﾟﾚｲ	
ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ		PBL		模擬授業		その他	

授業内容・授業計画

時間数	内容概略	わかる目標・できる目標
1-2	Introduction to Graded Reading / Level / Book Types	10項目程度
3-4	Student Level Selection / Book Overview	① Improve general reading skills
5-6	Book Selection 1: Assigned Reading	② Improve gist reading skills
7-8	Book Selection 1: Written Appraisal	③ Improve detail reading skills
9-10	Book Selection 1: Group Discussion	④ Gain knowledge of famous lives
11-12	Level Review (Change Appropriacy)	⑤ Gain knowledge of major cities
13-14	Book Selection 2: Assigned Reading	⑥ Improve paraphrasing skills
15-16	Book Selection 2: Written Appraisal	
17-18	Book Selection 2: Group Discussion	
19-20	Introduction to Audio Books	
21-22	Audio Book Selection 1: Assigned Reading	
23-24	Audio Book Selection 1: Written Appraisal	
25-26	Audio Book Selection 1: Group Discussion	
27-30	Book Reviews and Appraisals	

成績評価方法	Attendance 25%, Effort & Participation 75%
使用テキスト／教材	A wide variety of graded readers will be available. These will cover comedy, biography, history, suspense.
関連科目	英語検定II
その他	It is recommended to choose a book slightly lower or higher than your current level. When selecting books, please take your time. ※実務経験のある教員が担当する科目である。

シラバス（授業概要）　2023　年度

授業科目名	Vocational English Ⅱ
学科・コース	国際コミュニケーション科／ランゲージコース
担当教員	Anthony Cook

授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位
演習	・講義	2	後期	必修	30	1

授業目的 到達目標	This course prepares students for job interview and recruitment in English. A wide variety of interview questions are studied as well as the opportunity to create an English language resume and cover letter.

授業手法	・対面		・遠隔		・対面/遠隔	○	・オンデマンド	

アクティブラーニング								
事前学習型授業		反転授業		調査授業		ﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸ	
双方向ｱﾝｹｰﾄ	○	ﾍﾟｱﾜｰｸ	○	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ		ﾛｰﾙﾌﾟﾚｲ	○
ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ		PBL		模擬授業		その他	

授業内容・授業計画

時間数	内容概略	わかる目標・できる目標
1-2	Unit 1: Self Introduction Training	10項目程度
3-4	Unit 2: Biographical Questions I	① Answer questions about hometown
5-6	Unit 3: Biographical Questions 2	② Answer questions about personality
7-8	Unit 4: Educational Background Questions 1	③ Answer questions about school activities
9-10	Unit 5: Educatiional Background Questions 2	④ Answer questions about career motivations
11-12	Unit 6: Employment Experience Questions 1	⑤ Retell school accomplishments
13-14	Unit 7: Employment Experience Questions 2	⑥ Retell workplace experiences
15-16	Unit 8: Career Movitation Questions 1	⑦ Create an English language résumé
17-18	Unit 9: Design a résumé I	⑧ Create an English language cover letter
19-20	Unit 10: Design a résumé II	⑨ Provide a fluenct self-introduction
21-22	Unit 11: Design a cover letter	
23-24	Unit 1-4 Review & Practice	
25-26	Unit 5-8 Review & Practice	
27-28	Unit 1-8 Review & Practice	
29-30	Testing	

成績評価方法	Written Examination 80%, Attendance 10%, Effort & Participation 10%
使用テキスト／教材	Course materials will be provided weekly by the teacher.
関連科目	英語検定Ⅱ、TOEIC SWⅡ
その他	This class is conducted primarily in English. The material covered during the course will enable students to perform well in employment interviews. ※実務経験のある教員が担当する科目である。

シラバス（授業概要）　2023　年度

授業科目名	ICTプレゼンテーション						
学科・コース	国際コミュニケーション科／ランゲージコース						
担当教員	杉山和代・山梨千恵子						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
演習	・講義	2	後期	必修	30	1	
授業目的 到達目標	ICTツールを利用して、与えられたテーマに即した必要な情報収集・分析ができる力を身に付け、それらをもとにプレゼンテーションを構成し効果的に発表できる力を磨く。						

授業手法	・対面			・遠隔			・対面/遠隔	○		・オンデマンド	
アクティブラーニング	事前学習型授業			反転授業			調査授業	○		ﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸ	
	双方向ｱﾝｹｰﾄ			ﾍﾟｱﾜｰｸ			ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	○		ﾛｰﾙﾌﾟﾚｲ	
	ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ	○		PBL	○		模擬授業			その他	

授業内容・授業計画

時間数	内容概略	わかる目標・できる目標
1-2	プレゼンテーションの基礎	10項目程度
3-4	トピックへのイントロダクション	① プレゼンテーションを作成できる
5-12	リサーチ・資料作成・分析、パワーポイント作成	② トピックに対する情報収集・評価ができる
13-16	プレゼンテーション①	③ プレゼンテーションを行うことができる
17-18	①のフィードバックとプレゼンテーション応用	④ 効果的なプレゼンテーションを作成できる
19-26	リサーチ・資料作成・分析、パワーポイント作成	⑤ トピックに対する情報収集・評価・分析ができ、論じることができる
27-30	プレゼンテーション②	⑥ 効果的なプレゼンテーションを行うことができる

成績評価方法	プレゼンテーション（60%）、トピックに対する理解（20%）、出席率・授業態度（20%）
使用テキスト／教材	必要な資料は回ごとに講師が配布
関連科目	比較文化研究Ⅰ・Ⅱ、海外生活研修。海外文化研修
その他	